

## 東久留米市第5次長期総合計画基本構想（素案）に対するパブリックコメント（ご意見）と市の考え方

募集期間：令和2年5月7日(木曜日)から令和2年5月26日(火曜日)まで

意見提出者数：3名

No	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<p>基本構想審議を傍聴させて頂きました。会議は、もっと重苦しいものかと思っておりましたが、想像以上にオープンで活発な意見交換がなされていました。市の向こう10年は、超少子高齢化（生産人口減少・社会保障給付費の膨張）が大きく市財政を圧迫することになります。市民にとっても大事な10年となるこの時期に展開される第5次長期総合計画基本構想は、市民あつてのものとの思いで終盤の審議会を傍聴する中、国連が提唱するSDGs（no one will be left behind：“誰ひとり取り残さない”社会をつくる～2030）の精神をどう基本構想に活かすかが提案され真剣な討議は、市民一人ひとりへの思いが感じられ頭が下がる思いと共に市民は何をなすべきかと、その責任の重さを痛感しながら傍聴席を後にしました。第5次の基本目標・基本的な施策を実現するための具体的な施策の検討には、SDGsの主要17項目に共感できる世界規模の社会的責任を自覚したものが仕上がることと、広く市民を巻き込んだ協働の取り組みとなることを期待します。</p> <p>COVID-19の収まらない中、作成作業も大変かと思いますが、今頑張ってくださいと10年後には、他市との市民幸福度に差がつくことになるのではと考えます。「頑張ろう、東くるめ！」</p>	<p>基本構想は東久留米市がめざすまちの将来像やまちづくりの基本理念を定め、その実現に向けた施策の大綱を示すものであり、計画的な行政運営の指針となるものです。基本構想の素案に記載されているように、基本目標を達成するための諸政策を展開していくことが、SDGsの達成に向けた取り組みの推進に資するものと考えております。</p> <p>また、まちづくりの基本理念として「みんなが主役のまちづくり」を掲げ取り組んでまいります。</p>

<p>2</p>	<p>少子・高齢化、異常気象、日本の国際競争力の低下、COVID19、社会全体が大きく変化している中、将来を見据えた計画ではなく、平成の計画のように思いました。COVID後の新たな日常も想像するべきと思いました。また、視点が東久留米内にだけ向いていて孤島の計画のように感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの将来像、まちづくりの基本理念 前のものとの違いがなく 今の社会情勢を考えると同じ到達点を目指す理由がわかりませんでした。</li> <li>・まちづくりの基本目標 SDGs に資する必要があるのでしょうか。国連には他にもたくさんの大綱があります。内容を見ても市の計画とスケールが違います。ただし、持続可能性という観点には共感できます。この構想全体が東久留米としての持続可能性を目指すものになってもよいと考えます。持続可能な行財政運営とおぼろげに記載がありますが、役所内部の話と思います。東久留米が持続しなくなって役所だけが残る意味はないと思います。</li> <li>・基本目標：共に創るにぎわいあふれるまち 地域経済の活性化も良いですが、日本経済が停滞する中で、視点が内向きです。東久留米の企業で仕入れから販売まですべてを市内で済ませているところがどれだけあるのですか。働き手の多くが都心に出ているのではないですか。他の地域ともつながっているという肝心なところが抜けています。また、Tokyo2020 や COVID 後の世の中に備えるべきです。在</li> </ul>	<p>現在、日本は新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、市においても「新たな日常」に取り組んでおりますが、基本構想は、東久留米市を取り巻く社会、経済が変化する中であって、「まちの将来像」や「まちの基本理念」を定め、その実現に向けた今後10年間の施策の大綱を示し、計画的な行政運営の指針として定めるものです。</p> <p>また、市の基本構想は国や東京都の取り組みを踏まえつつ市が目指すべき将来像に向けた施策の大綱として取りまとめています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの将来像、まちづくりの基本理念 「まちの将来像」、「まちづくりの基本理念」については、第4次長期総合計画における取り組みを踏まえた上で、市がめざすべき将来像、基本理念として改めて定めたものです。</li> <li>・まちづくりの基本目標 基本構想（素案）に記載のとおり、基本目標を達成するための諸政策を展開していくことが、SDGs の達成に向けた取り組みの推進に資するものと考えております。</li> <li>・基本目標：共に創るにぎわいあふれるまち 基本構想（素案）に記載のとおり、「共に創るにぎわいあふれるまち」については、「市民一人ひとりの活動や地域の活動で生まれた活力を源に、地域住民や関係団体、事業者等と共に産業の活性化を図り、まちの魅力を高めながら、訪れたいくなる、そして、住みたいくなる、にぎわいあふれるまちをめざします。」とした上で、これに紐づく基本的な施策を掲げて</li> </ul>
----------	--	---

<p>宅ワークなどは今後さらに加速します。</p> <p>生涯学習の推進がにぎわいにどうつながるのかわかりませんでした。スポーツや文化芸術活動の推進とかと書いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：安心して快適にすごせるまち</li> </ul> <p>COVID では安心と快適は両立しないものと感じました。違和感を感じます。安心と快適を一つの項目に詰め込むことで何をするのか取り組みがわかりづらいです。また、感染症や食糧危機、国家間の紛争なども起こりうることです。自然災害以外にもさまざまな脅威があります。こうした包括的な脅威に対する持続可能性が必要と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：いきいきと健康に暮らせるまち</li> </ul> <p>超高齢化社会を迎えるのであればいきいきと暮らせる高齢者がどれだけいるのでしょうか。そうでない大多数の高齢者にまず先に目を向けるべきではないですか。重要なことは介護をどうするのかだと思います。肝心な所から目を背けている感じがします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：子どもが豊かに成長できるまち</li> </ul> <p>親の子育てと子供に必要な教育を一つの項目に詰め込むことで何をするのか、取り組みがわかりづらいです。出生率の向上が期待される対策が見えません。現在はICTから多くのことを得ることができますが、日本では基礎的な教育がおろそかで国際競争力の低下につながっています。必要な力とおぼろげに記載してありますが肝心なところが抜けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：自然と共生する環境にやさしいまち</li> </ul> <p>地球温暖化問題は異常気象やウィルスの蔓延とも関連づけられ世界が滅ぶ問題です。危機感を持った取り組みが必要と考えます。節電の徹底で</p>	<p>います。「生涯学習の推進」については、こうした目標に向けての施策として整理しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：安心して快適にすごせるまち</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の影響下におけるご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>自然災害以外の様々な脅威に対しての市の対応としては危機管理として整理しております。そうした事態に至った際には、国や都の方針を踏まえて対応に当たることとなりますが、このことについて基本構想の中で整理することは難しいものと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：いきいきと健康に暮らせるまち</li> </ul> <p>基本構想（素案）に記載のとおり、「いきいきと健康に暮らせるまち」については、「だれもが住み慣れた地域で、いきいきと活躍し、健康で幸せに暮らし続けられるまちをめざします。」とし、介護も含めた福祉、医療、生活支援が一体的に提供される仕組みづくりを進めるとしてしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：子どもが豊かに成長できるまち</li> </ul> <p>基本構想においては、まちの将来像を実現するための基本目標を定め、これに紐づく基本的な施策を整理しています。頂いたご意見については、基本構想に基づく基本計画の中でより具体的に展開してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標：自然と共生する環境にやさしいまち</li> </ul> <p>基本構想においては、まちの将来像を実現するための基本目標を定め、</p>
---	--

	<p>は限度があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来人口と土地利用に関する方針</li> </ul> <p>将来人口の話が唐突にここにでてくる意図がわかりません。課題の一つとしてのせているのでしょうか。そうであれば他にも課題はありますし、生産者人口が減ることが大きな問題で肝心なところが抜けています。また、どのように合計特殊出生率を2030年までに1.80まで上昇させ、若者・子育て世代の転入数を増加させるのでしょうか。</p> <p>土地利用の話が唐突にここにでてくる意図がわかりません。また、まちの将来像やまちづくりの基本目標などを実現するために行うものではないのですか。湧水のまちをつくるのではないですか。</p> <p>構想全般において今の情勢を踏まえ将来の東久留米をどうしていくといった主体性・戦略性が感じられませんでした。今回のCOVIDの対策においては省庁や都道府県の対策に頼もしさも感じていますが、市役所は不要のように思えます。いろいろと勝手なことも書きましたが少しでも良いものにしてください。</p>	<p>これに紐づく基本的な施策を整理しています。頂いたご意見については、基本構想に基づく基本計画の中でより具体的に展開してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来人口と土地利用に関する方針</li> </ul> <p>まちの将来像の実現に向けた施策展開の基本的条件として、将来人口及び土地の利用についての方針を定めています。将来人口の推計は、今後のまちづくりにとって重要な要素であり、一般的な人口推計であるコーホート要因法による推計を行うとともに、東久留米市人口ビジョンの算出条件を利用した将来展望人口を併せて記載しています。</p> <p>なお、土地利用に関する方針については、まちの将来像「みんないきいき 活力あふれる 湧水のまち 東久留米」を踏まえた方針としています。</p>
3	<p>人類はコロナウイルスで世界的な危機に直面しています。日本は緊急事態宣言を解除したとはいえ、社会経済等あらゆる分野で大きな問題が起きており、政府、企業、民間でこの非常事態に対応するために緊急対策を実行しています。政府はコロナとの戦いに長期戦を覚悟する必要があると述べていますが、これから社会は大きな変革を迫られていると思います。今回の第5次長期総合計画策定にあたり、最も重要な基本的な視点として「社会経済情勢を踏まえた長期総合計画づくり」をうたっています。これからコロナ以後に社会経済等あらゆる分野での大変化が予想され、地方自治体の行政運営も大きな変革を迫られる中、第5次長期総合計</p>	<p>現在、日本は新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、市においても「新たな日常」に取り組んでおりますが、基本構想は、東久留米市を取り巻く社会、経済が変化する中であって、「まちの将来像」や「まちの基本理念」を定め、その実現に向けた今後10年間の施策の大綱を示し、計画的な行政運営の指針として定めるものです。</p> <p>今後、本構想に基づく基本計画を策定してまいります。社会経済情勢を踏まえた計画策定に努めてまいります。</p>

<p>画策定の内容も新しい視点で見直し、再構築することが求められているように思います。</p> <p>緊急事態危機対応の長期戦の中で社会は大きく変化して「新しい生活様式」の実践がニューノーマルとして定着すると考えられ、この生活様式を取り込んだ健康、医療、介護等の実践やデジタル技術の活用による教育改革や行財政改革、またテレワーク等による新しい働き方改革等あらゆる分野で変化が起きようとしています。</p> <p>このような状況下で、今回の第5次長期総合計画の内容は従来 of 延長線上に位置づけるのではなく、新しい視点を反映した、具体的に実現に向けた長期総合計画にするべきです。新たな夢のある東久留米市の姿を描いてほしいと思います。</p>	
--	--